

障がいのある方の雇用に取り組む

## (株) J・P・F (京都市南区)

「京都はあとふる企業」です

### ◆主な事業内容：金属部品加工

【障がいのある方が従事している仕事】  
ヒーターへの配線の組み込み作業

#### 【障がい者雇用の経緯】

- ・社長自身が身体障がい者であり、会社としても貢献出来ることはないかと、障がい者雇用を行うとともに、京都中小企業家同友会ソーシャルインクルージョン委員会に参画し、啓発活動にも参加してきました。
- ・昨年、5年勤務の精神障がいのある方が、体調を崩し、残念なことに退職されました。
- ・この経験を大切にしつつ、今年(H31年)の2月から、30代の精神障がいのある方が就労されています。



#### 【とくに工夫していること】

- ・業務内容や工程を見直し、出来るだけ業務の細分化を行い、障がいのある方の特性にあった仕事を切り出すように努めています。
- ・障がいのある方の特性を全社員で共有し、サポートできるようにしています。
- ・急に休まれてもフォロー出来る体制を作り、本人も体調の申告がし易いようにしています。
- ・工場であり、安全確保が大切であり、その点を含めて合う方が居られれば、今後も実習の受入れや採用は積極的に考えていきたい。



#### 【Sさんに聞きました】

- ・就労移行支援事業所の紹介で実習を受けて、「自分に向いている」と感じました。
- ・月に2回の通院、服薬も配慮いただいています。学習障がいもあり、数字が苦手で、また、細かいところを気にしすぎる所もあり、皆さんにフォローしていただくことが多いですが、楽しく働いています。
- ・今の目標は、この仕事を長く続けていくことだと思っています  
(社内の雰囲気づくりを担ってくれています。社長談)